

給食会たより

平成 30 年度 第 9 号
公益財団法人
熊本市学校給食会

2 学期が始まりました。夏の疲れを取ったり生活のリズムを整えたりするために、給食も大切な役割を果たしています。実りの秋をめざして、給食会もスタートです。

給食物資納品時品質確認(食肉) 9月12日

城南共同調理場・田迎西小学校・力合小学校

安全・安心な食肉を提供するために、まず各学期の始まる前の給食連絡会において、先生方と食肉専門家で、その学期使用する食肉の見本の確認をします。さらに学期途中には、不定期に食肉専門家と給食会職員で調理場や小学校の現場へ出向き、その日使用する食肉について、提出された見本と同等のものが納品されているか品質の確認を行います。そして、結果は組合と業者にお知らせします。



確認事項としては農水省の規格に従い、食肉の色沢、脂肪の様子、肉の締まり及びきめ、仕上げ等です。納品の時刻や温度も確認します。

ごちそう
さま

2 学期、学校給食で使用するじゃがいも、玉ねぎ、人参は、北海道を産地とするものに切り替わる時期です。ところが、夏の長雨や台風 21 号の影響もあり生育不足、さらに、先日の地震のため、流通に大きな影響が出ています。産地の選果場に品物が集まっても、停電で選果・箱詰めができず、手で選別し箱詰めしているとのこと。また、輸送についても、陸路は救援物資が優先されているため、最寄の港でフェリーに輸送できるスペースを探し確保したそうです。

「給食に欠品がでないようがんばります。」と、なかなか連絡が取れない中、心強い返事をいただいたと青果組合から報告がありました。私たち自身、熊本地震では、被災しながら仕事を続けていました。だからこそ、北海道のたいへんなことは手に取るようにわかります。届いた野菜を感謝していただき、一日も早い復旧をお祈りするばかりです。ありがとうございます。